


2018  
学生の  
選んだ  
「いい授業」

Tokai Univ. Teaching Award  
Prize Winners List 2018

- 授業内容は教職員ポータルまたはキャンパスライフエンジンから「シラバス検索」で確認できます。
- 教職員が授業を見学する場合は「授業時間割表」で教室を確認し、授業開始前に担当教員に申し出て見学してください。
- 所属等は2018年4月現在です。

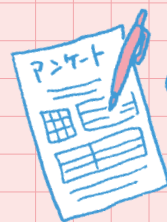
 東海大学教育支援センター

発行：東海大学教育支援センター 編集：教育支援センター教育支援課 発行日：2018年6月1日  
TEL：0463-58-1211(内線2086) E-mail：shien@tsc.u-tokai.ac.jp

教育支援センターのホームページ  
<http://www.esc.u-tokai.ac.jp/>

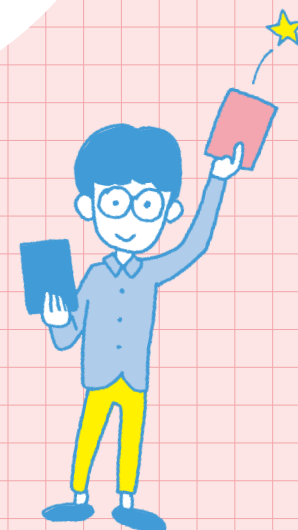
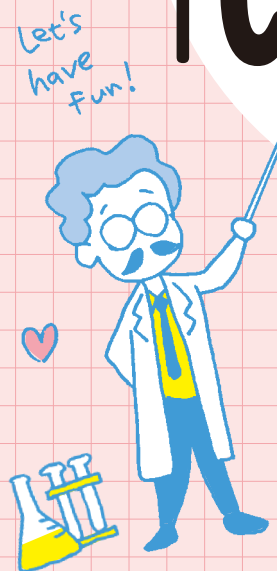
東海大学教育支援センター

検索



2018  
学生の  
選んだ  
「いい授業」

Tokai Univ. Teaching Award  
Prize Winners List 2018



 TOKAI UNIVERSITY  
EDUCATIONAL SUPPORT CENTER

## ◆ 一緒につくろう! 『いい授業』 ◆

### 学生の皆さんへ

今回も学生の皆さんが選んだ「いい授業」を担当している先生方を表彰させていただきましたのでお知らせします。

2016年度に実施した「授業のあり方に関するアンケート調査」および公開シンポジウムから、「知的好奇心が持てる」授業は皆さんにとっても先生方にとっても「いい授業」であることがわかりました。

先生方がいろいろと工夫し、「知的好奇心が持てる」より良い授業を展開できるようになるためには、皆さんに答えていただく「授業についてのアンケート」が大切な役割を担っています。より良い学習環境の実現には互いの信頼が重要です。これからもアンケートへの回答をよろしく願いいたします。皆さんと一緒により良い大学を創っていきましょう!

東海大学学長 山田 清志



### 「4つの力」でいい授業をつくろう

やあ! 僕はリッキー! 東海大学の「4つの力」イメージキャラクターだよ!

2009年に東海大学が社会的な実践力を養うための具体的な教育目標(育成する力)としてこの「4つの力」を策定したんだ。

「4つの力」とは、「自ら考える力」「集い力」「挑み力」「成し遂げ力」の4つ。

#### 自ら考える力

常に未来を見据え自らが取り組むべき課題を探求する力

#### 集い力

多様な人々の力を結集する力

#### 挑み力

困難かつ大きな課題に勇気をもって挑戦する力

#### 成し遂げ力

失敗や挫折を乗り越えて目標を実現していく力

僕と一緒に「いい授業」をつくっちゃおう!!

東海大学の「4つの力」  
イメージキャラクター リッキー



Tokai Univ. Teaching Award  
Prize Winners List 2018

## ◆ 優秀賞受賞者 (2017年度選出) ◆

体育学部生涯スポーツ学科 **野坂 俊弥**先生

海洋学部航海工学科航海学専攻 **福田 巖**先生

農学部応用動物科学科 **樫村 敦**先生

国際文化学部デザイン文化学科 **藤森 修**先生

国際教育センター国際言語教育部門 **キム ミンス**先生

### 選考方法

東海大学では「授業力向上」のために、1993年度から学生による授業アンケートを行っています。1年間に開講された講義科目の授業を対象として、授業についてのアンケートの「総合評価平均評価点」、「科目履修人数」、「アンケート実施率等」を考慮した候補者リストの中から、学部等により候補者を推薦していただき、最終的に大学運営本部が中心となって厳正なる審査を行いました。

また、授業のポイントである3要素、「分かりやすい」、「聞き取りやすい」、「関心が持てる」は、選定の重要な項目です。

受賞者ページ(p4~8)中では、右のアイコンを設け、受賞教員が心がけているポイントを記載してありますので参考にしてください。

わかりやすくする

関心を  
持たせる

聞き取りやすくする

### 【授業についてのアンケート】





体育学部生涯スポーツ学科

# 野坂 俊弥先生

Nosaka Toshiya



【学 位】 博士(スポーツ学)  
【専門分野】 ウェルネス/健康科学  
【主要授業担当科目】  
衛生学(労働衛生を含む)/健康運動指導特講/健康学概論/幼児から高齢者までのスポーツ理論/運動処方実践実習

## すべては先輩たちから教わった

赴任して4年目の私にとって、受講学生の多くが私よりも東海大学の先輩でありました。ですので、授業内外にかかわらず、彼らとのコミュニケーションから得られる情報は、より良い授業実践を目指す上で極めて貴重でした。つまり「難しかった?」とか「物足りない?」など率直に尋ねることで得られる「お宝情報」を蓄積することにより、本学学生に適應した授業がある程度構築可能になってきたように思います。具体的には、学生たちは社会に即した実学としての授業課題を希求する傾向があり、それに応じて評価も定期テストや小テスト、あるいはノート提出など多様な方法を用いることにしています。ただ、実学に傾倒するあまり、学問の本質的な「楽しさ」を上手く伝えられていないことへの対処が今後の課題です。先輩である学生たちが卒業してしまっただけからこそ自分の授業の真価が問われるだろうと気を引き締めています。



## 野坂先生の『授業をよくするため』のテクニック

**わかりやすく** 自覚はないのですが、擬音語や擬態語が多いようで、それが理解を促す一助になっているかもしれません。また、単元の重要な事柄は繰り返して伝えたり、具体的な事例を示したりして学生たちの表情を確認します。

**関心を持たせる** 重要なことを「重要だ」と伝えるのではなく、重要性の理解が沸き起こるような授業展開ができないものかと腐心しています。『北風と太陽』の太陽のような授業ができればと思います。

**聞き取りやすく** 話す文はなるべく短く、平易で明瞭な表現をするように気を付けています。また、滑舌が悪いので授業前には頬のマッサージや口のストレッチが欠かせないのですが、それを見た学生からは変な顔をされます。

「いい授業」のために私はコレを活用

スマートフォン

例えば瞳孔の対光反射を体験させる時には、相手の目をのぞき込みながらスマートフォンのライトを点灯させます。「スマホ出して」と指示した時の「え、いいの?」と言いたげな学生の反応を楽しんでいます。

## 学生VOICE!!

岩瀬 由枝さん 文学部英語文化コミュニケーション学科 3年生



私が受けた野坂先生の授業は自分で授業のノートを作るスタイルだったのですが、大事なポイントをおさえて、過去の経験やエピソードをふまえて授業を展開して下さる為、分かりやすくノートにまとめやすかったです。授業のテンポもノートを取るのが苦手な私でも、しっかりついていけました。野坂先生の話の話を聞いていると、もっと深くまで知りたいと思うようになり自分で授業にまつわる資料を調べたりもしました!今でもその時の授業ノートは大切な事がぎっしり詰まっている為、読み返しています!



海洋学部航海工学科航海学専攻

# 福田 厳先生

Fukuda Gen



【学 位】 博士(工学)  
【専門分野】 海上交通工学/船舶津波対策  
【主要授業担当科目】  
航海計器学/海事英語/運用学演習/運用通信実習/海洋実習

## 自ら考える習慣を身につける環境作り

学生が授業を通して自ら考える力の重要性に気が付き、そして身につけられる環境作りを心がけています。実験の授業で計算を行う時は、どんなに時間がかかっても、自分で考え答えを導いてもらいます。経験上、誰かに聞いて何と無く問題を解いた学生とは、最終的な能力が大きく異なってくるのがわかってきており、学生にもそれを説明しています。また、座学で学んだ知識を、実機を用いて理論的に説明してもらう機会を設けています。例えば、ジャイロコンパスが北を指すことを説明するためには、宇宙からの視点で運動を見ることが重要です。視点の切り替えは難しいですが、学生は模型などを用いて身体を動かしながら考えています。自ら考えるというのは、時間がかかり学生からも不評(笑)ですが、事前に何故この方法で授業をやるのか、将来的にどんな力になるのかを説明し、学生自身が趣旨を理解して授業に臨めるよう工夫しています。



写真中央が福田先生

## 福田先生の『授業をよくするため』のテクニック

**わかりやすく** 重要なポイントは学生に質問をしながら、理解度を確認し進めています。また、段階的に理解を進めていけるよう、いまやっていることは最終的に理解しなければならぬ事にどのように関わってくるのかを説明しながら進めています。

**関心を持たせる** 研究活動において得た最新トピックス、OB・関係者から得た現場の最新情報や実際に発生した事故事例等で授業に関連する内容については、学生にフィードバックするようにしています。

**聞き取りやすく** 学生に質問をすることにより、学生に話している内容が届いているのかを確認しています。特に重要な点で必要と感じた場合は、時間を置いて何度か説明します。

「いい授業」のために私はコレを活用

実機を触り実践を意識しながら学べる環境

座学で理論や基礎的なことをやった後は、可能な限り実機を触りながら確認しています。昨年度設置された最新型シミュレータは、より実践的な環境を作り出せるため、学生のモチベーションや能力向上に役立っています。

## 学生VOICE!!

酒井 基与斗さん 海洋学部航海工学科航海学専攻 4年生



福田先生はまずジャイロコンパスなどの航海計器の原理を説明後、僕らが正しく理解できているかを1人ひとり当ててくれます。当てるといっても圧迫的な雰囲気ではなく、友達のように親しみを持って質問をしてくれます。分からなければ何が理解できていないのかをつきとめ、間違いを正してくれるため理解しやすく学びが進みます。学生からは「厳ちゃん」の愛称で呼ばれ愛される存在です(笑)

野坂先生の2018年度の授業

▶ 授業内容はキャンパスライフエンジン「シラバス検索」で確認!

科目名	必選	単位	開講校舎
生涯スポーツ論	必	4	湘南
生涯スポーツ基礎セミナー	必	2	湘南
健康運動指導特講A	選	2	湘南

秋学期

科目名	必選	単位	開講校舎
ウエルネス総論	選	2	湘南
運動生理学	必	2	湘南
健康学概論	選	2	湘南

福田先生の2018年度の授業

▶ 授業内容はキャンパスライフエンジン「シラバス検索」で確認!

科目名	必選	単位	開講校舎
運用学演習1	選	1	清水
航海計器学2	選	2	清水
運用通信実習2	選	2	清水

秋学期

科目名	必選	単位	開講校舎
航海計器学1	選	4	清水
航海学3	選	2	清水
航海計器学実験	選	2	清水



農学部応用動物科学科

榎村 敦先生

Kashimura Atsushi



【学 位】 博士(農学)
【専門分野】 哺乳類学/比較生理学
【主要授業担当科目】 動物飼科学/世界の畜産/動物科学実験3/フレッシュマンゼミナル/応用動物科学システム論/応用動物科学実験

ゴールと全体像をイメージできる授業づくり

授業では毎回テーマを絞って講義を展開し、最後にテーマに戻ることで今日の講義で伝えたい内容を反復します。さらに、各回が「つながり」を持つことを学生が意識できるように、全体の中でどの部分の話題であるかも毎回反復して授業のゴールとの関係を確認しています。また、受講学生がもつ動物の生活に特化した授業内容というイメージに対して多角的な考え方が持てるように、動物種の狭い視点から生態系までの幅広い視点や、世界の畜産体系について文化や生態学に沿った文理融合の視点で読み解くような構成にしています。これらの工夫はアクティブ・ラーニングを取り入れた、学科で取り組むフレッシュマンセミナーなどでの相互授業参観を通してヒントを得て取り組むことができた実感しています。



理融合の視点で読み解くような構成にしています。これらの工夫はアクティブ・ラーニングを取り入れた、学科で取り組むフレッシュマンセミナーなどでの相互授業参観を通してヒントを得て取り組むことができた実感しています。

榎村先生の『授業をよくするため』のテクニック

授業支援システムにより、各回の内容を確認するレポートや質問を次回の授業までに提出してもらいます。その解説や回答を通して、学生が復習する機会と時間、そしてつながりを意識する機会を得られるようにしています。

学生がイメージしやすい現象や身近な話題から導入に入り、授業を展開していくことで、各回の内容について関心をもてると思えます。

普段は滑舌が良いとは思いませんが、授業の際には大きな声ではっきりと話そうにしています。同時に学生が顔を上げてついてきているリアクションを観察し、首を傾げている場合はもう一度説明して、理解できているか聞いています。

「いい授業」のために私はコレを活用

Prezi

ズームによって、大きな視点(話題)から小さくしていくことができ、最後にはズームアウトにより講義内容の全体像からそれぞれの項目がどのように関連するかを見せて説明できます。

学生VOICE!!



松岡 優さん 農学部応用動物科学科 2年生

榎村先生の講義を受けて2、3年生で学ぶ専門的な講義の土台作りができたと思います。「あの時の!」って2年生になってなることが多くあるので講義を受講してよかったです。講義も生徒と先生が一つになって楽しくつくっているのが毎週楽しく講義を受けられると思います。他の先生の講義よりも生徒との距離も近いので質問しやすく講義内容をしっかり自分のものにできた講義でした。



国際文化学部デザイン文化学科

藤森 修先生

Fujimori Osamu



【学 位】 修士(工学)
【専門分野】 北欧のランドスケープデザイン/デンマークの建築デザイン
【主要授業担当科目】 コンポジション/デザイン文化概論/デザイン入門ゼミナル/デザイン・ドローイング/空間デザインA/リビングデザイン論

学生の意見を授業に反映

僕の専門分野は「建築設計」という、デザインの1分野に過ぎません。担当講義の履修者は、以前は3、40名程度でしたが近年は建築人気で、他学部・他学科の履修生が増加傾向にあり、この2、3年で130人以上の履修者となっています。建築の設計演習の授業も同様に増えています。こうした環境下で教員として鍛えられました。また学部の教務委員をしていることから、教員と



の授業方針の打ち合わせや非常勤講師の先生方の授業見学をすることが増えました。こうした機会を通して、現在自分の手法を作り出している途上にあります。たとえば学生の提出したレポートの意見は速やかに次の授業内容に反映させて、教員⇔学生相互の交流を促しています。

藤森先生の『授業をよくするため』のテクニック

「分かり易いこと」も大切ですが、授業で扱うテーマ・問題をすぐに「消化」させないように、学生自ら考えさせる「含蓄」を与えることも心がけています。とりわけ僕の分野は、解答がひとつに収斂せず多岐にわたる傾向があるため、容易く「すぐに分かった」とならないように意識して指導しています。

教員は自身の知識をただ語るのではなく、学生に授けようとする姿勢を持つことを意識しています。

特に意識していませんので、次の課題とします。ただ学生に人気の授業を見学すると、イントネーションがはっきりしているケースが多いと思います。

「いい授業」のために私はコレを活用

脚立

大教室でスクリーンの上部に映し出された画像を「差し棒」で指す場合、脚立に乗り、身を乗り出して行っています。レーザーポインターでは「ここを伝えよう」という教員の情熱が伝わらないので、戦略的に避けています。

学生VOICE!!



洞内 優希さん 国際文化学部デザイン文化学科 2年生

藤森先生は、社会に対しての批判的な意見から問題を見つけ出し、それを解決するための建築やデザインについて、ご自身の経験談や体験談を絡めながら面白い授業を行って下さいました。授業の中で話していただいた、社会問題の捉え方や建築物への視点などが、日々さまざまなデザインを学ぶ上で役立っています。

授業内容はキャンパスライフエンジン「シラバス検索」で確認!

Table with 4 columns: 科目名, 必選, 単位, 開講校舎. Rows include 動物生態学, 動物飼育管理実習4, 適正家畜生産規範学1.

Table with 4 columns: 科目名, 必選, 単位, 開講校舎. Rows include 世界の畜産, 食品製造実習, 適正家畜生産規範学2.

授業内容はキャンパスライフエンジン「シラバス検索」で確認!

Table with 4 columns: 科目名, 必選, 単位, 開講校舎. Rows include コンポジション, リビングデザイン論, フィールドワークA.

Table with 4 columns: 科目名, 必選, 単位, 開講校舎. Rows include デザインドローイング, 空間デザインA, デザインキャリア.



国際教育センター国際言語教育部門

キム ミンス先生

Kim minsoo



【学 位】 博士(言語学)  
 【専門分野】 日韓対照言語学 / 韓国語教育  
 【主要授業担当科目】 韓国語入門 / 韓国語会話入門 / 韓国語会話中級 / 韓国語検定初級 / 韓国語検定中級 / 韓国語表現法

## 学生と教員が共に作り上げる授業

語学の授業は授業活動を活発化させるための最初の雰囲気づくりが一番大切だと思います。学生が恥ずかしながら話せるようにするためには、学生同士が親しく授業空間が安心してできて楽しい空間でなければなりません。そのために授業では最初にアイスブレイクを取り入れ、学習しやすい環境を整えます。その後、ペアやグループに分かれ、協力しながら学習するアクティブラーニングを行います。学生同士が互いに刺激し合って、一緒に学び成長する授業を目指しています。そして、一方通行の情報伝達にならないように、随時授業内容を確認しながら授業を進めます。授業内容に絡んだ雑談を交えながら授業にメリハリをつけるようにします。また、学生の名前と顔を覚え、授業時は積極的に声をかけ、学生とのコミュニケーションをたくさん取ることを心がけています。韓国語関連の情報提供はもちろん、授業外でも韓国語学習のサポートができるようにしています。



## キム先生の『授業をよくするための』のテクニック

**わかりやすく** 初回に授業の 패턴を説明し、毎回、一定の流れで進めます。授業の始めにはその日の授業内容と目標を明確に提示しています。また、重要なポイントは必ず強調し、具体的な例を挙げて短くポイントを押さえた説明を心がけています。

**関心を持たせる** 韓国語だけでなく、韓国の文化や社会など、学生の関心がある分野や韓国の最新事情についても授業時に取り上げています。また、韓国語を履修した先輩の勉強法、旅行・留学体験談や韓国人留学生による発表の機会を設け、韓国語の学習のモチベーションを高めるようにしています。

**聞き取りやすく** 話し方が単調にならないように、間を取ったり、抑揚をつけたりしながら話します。また、明瞭で大きな声でなるべくゆっくりと簡潔に話すように心がけています。

「いい授業」のために私はコレを活用

ゲーム、ワークシート、ミニツペーパー、パワーポイントや映像などの視聴覚資料など

教科書だけでなく、ワークシートやプリント資料を用いた様々なアクティビティを行います。遊び感覚で単語や表現を覚えるためのゲームなども積極的に取り入れています。また、レポートや作文などの課題にはコメントを付けて返すなど必ずフィードバックをするようにしています。

## 学生VOICE!!

矢内 優香さん 観光学部観光学科 3年生

日本語がとても上手なミンス先生は、授業中では韓国語の細かいニュアンスの違いを、日本語で説明してくれます。また生徒が質問をすると、時間をかけ優しく丁寧に教えてくれる先生です。学生とのコミュニケーションを大事にされる先生なので授業以外の時にも気軽に私たちに話しかけてくれます。先生のサポートがあったから勉強を続けてこられました。学生の習得状況に合わせて授業内容を調節してくれる学生思いの素敵な先生です。



キム先生の2018年度の授業

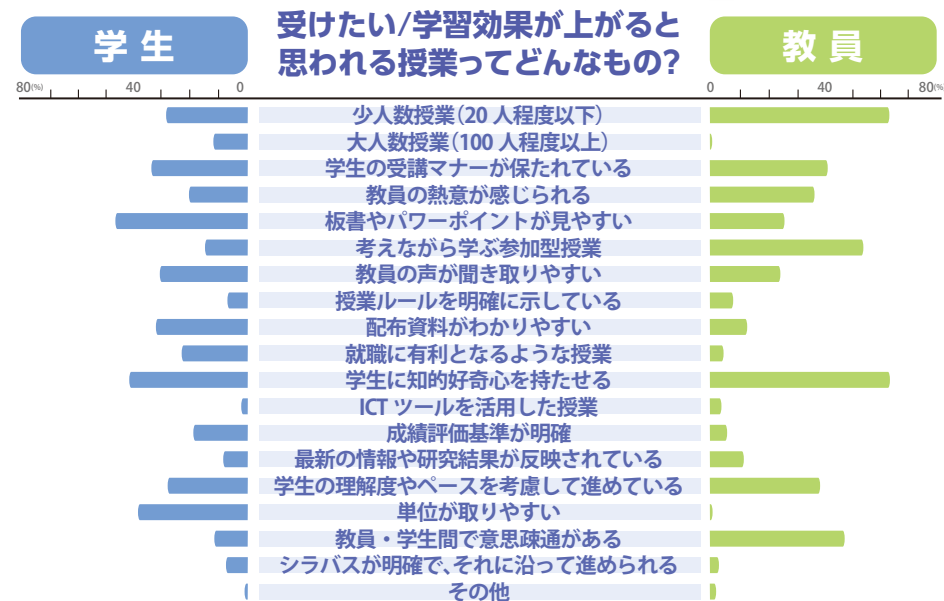
▶ 授業内容はキャンパスライフエンジン「シラバス検索」で確認!

科目名	必選	単位	開講校舎
春学期 コリア語会話初級A	選	2	湘南
第2外国語1	必	2	湘南
韓国語会話入門1	選	1	湘南

科目名	必選	単位	開講校舎
秋学期 韓国語検定中級2	選	1	湘南
韓国語表現法2	選	1	湘南
韓国語会話中級2	選	1	湘南

※2016年実施結果

## いい授業 アンケート結果



## 学生が思うベスト3

- 1 板書やパワーポイントが見やすい
- 2 学生に知的好奇心を持たせる
- 3 単位が取りやすい

## POINT

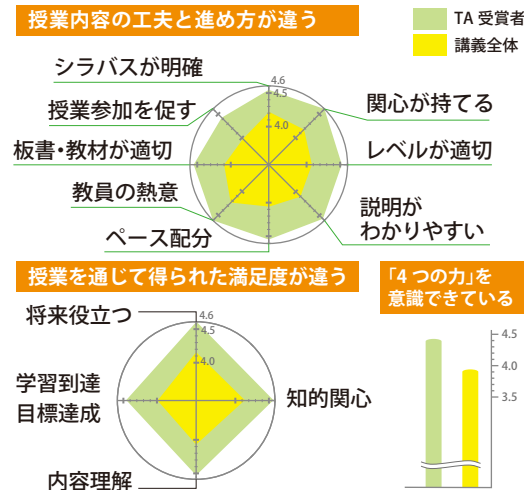
「知的好奇心を持たせる」は、いずれでも上位に!

## 先生が考えるベスト3

- 1 学生に知的好奇心を持たせる
- 2 少人数授業 (20人程度以下)
- 3 考えながら学ぶ参加型授業

## TA受賞者と講義科目全体を比較

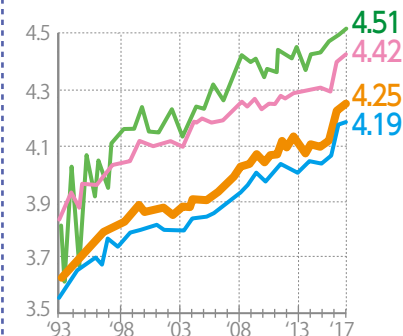
※2017年度秋学期実施結果



## 今年も増えた「いい授業」!

総合評価 **4.25** (5点満点中)  
 ※2017年度秋学期の平均

## 【総合評価の推移(全教員)】



# 「いい授業」をするためには…

監修／  
東海大学教育支援センター

東海大学教育支援センター 利根川所長に聞く

## 授業改善のポイント集

健康診断のレントゲンや採血で体の状態を診断するように、「授業の状態」も教育支援ツールを使うことで見えます。病気が薬や適切な処置によって元気になるように、授業もアカデミック・スキルを用いることで、教育的効果を高めることができます。ここでは、教育支援ツールとスキルを使い、学生の力を伸ばすための授業改善ポイントをご紹介します。以下のポイントで自分の授業を見直してみませんか。

ポイントは  
この8つ!



ポイント!

- 1 宣言する!
- 2 積極的な挨拶!
- 3 名前を覚える!
- 4 グループディスカッションを行う!
- 5 ミニッツペーパーを活用する!
- 6 双方向授業を心がける!
- 7 ツールを活用!
- 8 授業についてのアンケート結果を見直す!



## 授業マナー向上!

ポイント!

- 1 宣言する!
- 2 積極的な挨拶!
- 3 名前を覚える!
- 4 グループディスカッションを行う!



「いい授業」をするためには、学生のマナー向上が不可欠です。そのために必要なのが、この4つのポイントです。何よりも1回目の授業で、**授業マナーやルール**についてきちんと「宣言」することです。また、学科等で明確にガイドラインを決めておくスムーズでしょう。ほかにも、毎回授業で小テストを実施する、シラバスと一緒に決まり事を配布する、座席指定をするなどで効果を出すことができます。

先生から学生へ**積極的に挨拶**することはとても重要です。授業開始前や終了後に教室にいる学生へコミュニケーションをとりながら気軽に会話する事も大切

です。時には後列に座っている学生に積極的に話しかける、**名前を覚えて呼んであげる**、教室内を回り**学生と対話**する、といったことは、学生にとって想定以上の感動体験となり、授業マナー向上に効果的です。

更に学生が主体的に学べるようになるためには、授業内で**グループディスカッション**が導入できればより効果的です。学生自身が主体的活動を行うためには授業をしっかり聞いていないと自分が困ることになるため、授業中の私語が減る効果があり、学生自身の理解度も向上します。

## 理解度・関心を客観的に測定!

ポイント!

5 ミニッツペーパーを活用する!



黒板に書かれた内容をノートに写しているだけで勉強している感を残してしまう「板書のまる写し習慣病」や勇気がなくて先生に質問することなく「分からない」が累積して学習意欲が低下する「分からないだらけ症」を避けるために、毎回、授業の理解度チェックをすることはとても重要です。

◀ミニッツペーパー  
ひな型として使用できる3種のほか、独自の内容にすることも可能。

この**ミニッツペーパー**を使い、授業の「工夫の効果」や「理解度」、「関心度」を日頃から**チェック**しておけば、授業改善のヒントを得ることができるでしょう。ここで入手した「理解度」「関心度」の情報を「理解度」の進んでいない部分の対応やレポート課題や小テスト・定期試験の出題内容の検討に活用することで、学生の学習状況にあわせた授業の進め方をすることが可能となります。

## 学生の力を引き出し、伸ばす!

ポイント!

- 6 双方向授業を心がける!
- 7 ツールを活用!

学生に知的な関心を持ってもらうには授業での「生きた言葉」のキャッチボールが最も効果的であることは言うまでもありません。しかし、大人数授業などでは学生個々とコミュニケーションを行うことは時として難しい状況があります。そのような時は大学内の**教育支援アイテムや施設**をお勧めいたします。これらを活用すれば、履修者数にかかわらず、学生同士、教員と学生の会話がある授業運営を推進していくことが可能になります。

教育支援施設

### 双方向授業に特化した「アクティブ・ラーニング教室」

2014年に湘南校舎にて開設した「アクティブ・ラーニング教室」。双方向授業にあわせた仕掛けがたくさん用意されている。



▲テーブル体型のイスは、2人や4人などグループディスカッションにも最適。



▲大型スクリーンに動画や画像を映すことも可能。工夫次第で、アクティブラーニングとディープラーニングを融合した授業を展開できる。

代表的なツール

クリッカー 二択カード



両ツールとも、わかりやすく、かつ楽しく学生のレスポンスを集計できる。



◀電子黒板も3面設置されており、様々な分野の授業で利用されている。

利用については、教育支援課 (720-2685) へ

## 授業を終えて客観的に振り返る!

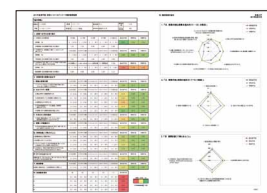
ポイント!

8 授業についてのアンケート結果を見直す!

**授業についてのアンケート結果**は、翌学期以後にアンケートを実施した科目ごとに個別の集計結果を確認することができます。アンケート結果では、①**授業における学生の取り組み**、②**授業の進め方**、③**授業を通じて得られたこと**、④**『4つの力』**について、**学科平均、学部平均と比較しながら当該科目の値を確認**することができます。特にアンケート結果については、

思い当たる原因があれば次期の授業改善に活用いただくとよいでしょう。

なお、アンケート結果について、思い当たる原因が見当たらない場合は、教育支援センターに授業コンサルテーションを依頼することもできます。第三者となる教育支援スタッフによる分析結果から、今まで気付かなかった原因に気付くことができるかもしれません。



▲授業についてのアンケート集計結果個票(サンプル)



# 授業アンケートから / 学生の選んだ「いい授業」

Tokai Univ. Teaching Award Prize Winners List 2018

# 受賞者一覧 (2002～2017年度)

※退職者、名誉教授、掲載辞退者を除いています。 ※現在の所属名称で表示しています。

マークの  
見方



優秀賞 ('00:受賞年度 '00年:受賞年)

\*…2007年度以前の「最優秀賞」を示す。(2007年度以前は選考方法が異なり最優秀賞と優秀賞があるため)

文学部	文学部	井野上 真弓 先生	'15	
	英語文化コミュニケーション学科	斎藤 早苗 先生	'03	
文化社会学部	アジア学科	葉 千栄 先生	'02 '03 '07年 '12	
	ヨーロッパ・アメリカ学科	河島 思朗 先生	'16	
	北欧学科		'14	
	文芸創作学科	堀 啓子 先生	'07年	
	心理・社会学科	浅井 千秋 先生	'07	
政治経済学部	経営学科	岩谷 昌樹 先生	'06 '09	
	芸術学科音楽学課程	梶井 龍太郎 先生	'03 '04	
	国際学科	荒木 圭子 先生	'15	
教養学部	国際学科	小山 晶子 先生	'16	
		小貫 大輔 先生	'07 '10	
	競技スポーツ学科	高妻 容一 先生	'02*	
	武道学科	天野 聡 先生	'12	
体育学部	生涯スポーツ学科	野坂 俊弥 先生	'17	
	健康マネジメント学科	阿部 正昭 先生	'13	
健康学部	健康マネジメント学科	小林 理 先生	'14	
		小川 竜 先生	'16	
		古谷 康雄 先生	'06	
	数学科	土屋 守正 先生	'07	
	情報数理学科	遠藤 雅守 先生	'05	
	物理学科	江川 浩 先生	'03 '04	
	化学科	関根 嘉香 先生	'03 '04 '08	
	基礎教育研究室	及川 義道 先生	'02	
	情報理工学部	情報科学科	内田 理 先生	'05
		コンピュータ応用工学科	浅川 毅 先生	'02 '07
工学部	応用化学科	長瀬 裕 先生	'05	
	電気電子工学科	大山 龍一郎 先生	'06	
	機械工学科	神崎 昌郎 先生	'04	
	航空宇宙学科航空操縦学専攻	新井 直樹 先生	'13	
観光学部	観光学科	立原 繁 先生	'10	

情報通信学部	情報メディア学科	濱本 和彦 先生	'02
	経営システム工学科	西口 宏美 先生	'07年
海洋学部		森山 弘海 先生	'03 '04
	水産学科食品科学専攻	齋藤 俊郎 先生	'05
	海洋生物学科	村山 司 先生	'04 '07年
	航海工学科航海学専攻	福田 巖 先生	'17
	海洋フロンティア教育センター	岡田 夕佳 先生	'15
医学部	看護学科	石井 美里 先生	'07
農学部	応用動物科学科	樫村 敦 先生	'17
	応用植物科学科	松田 靖 先生	'06
国際文化学部	地域創造学科	広川 龍太郎 先生	'07年
		山田 秀樹 先生	'15
	国際コミュニケーション学科	張 雷 先生	'07
		ハミルトンマークC 先生	'07
	デザイン文化学科	中尾 紀行 先生	'07
		田川 正毅 先生	'07年
生物学部	生物学科	藤森 修 先生	'17
	生物学科	笠原 宏一 先生	'07
現代教養センター		吉田 厚子 先生	'02* '05 '09 '12
国際教育センター	英語教育部門	シロスブルーマークリチャード 勉	'11
		中川 浩 先生	'13
		マドレー ジョン 先生	'16
	国際言語教育部門	安 小鉄 先生	'06
		キム ミンス 先生	'17
		佐藤 浩一 先生	'10
		中島 仁 先生	'14
情報教育センター		永野 光浩 先生	'14
課程資格教育センター	教育学研究室	朝倉 徹 先生	'04* '05 '11
		稲垣 智則 先生	'16
		鈴木 正行 先生	'13
	博物館学研究室	篠原 聰 先生	'12
清水教養教育センター		栗原 ゆか 先生	'08
熊本教養教育センター		マイナー ダニエル W. 先生	'15
札幌教養教育センター		和泉 光則 先生	'14



# 東海大学の 学習支援

## あなたの勉強をサポートします!

自分のペースで  
自由に勉強したい人は



### “TICU”

サイバーキャンパス (ネット学習)

“TICU” ホームページ  
<http://www.cyber.u-tokai.ac.jp/>

TICUは、ネット上に存在する学びの場です。東海大学生は、いつでもどこからでもTICUで学ぶことができます。内容は、政治経済、数学、物理、化学、生物、英語、IT、自然科学の基礎、言葉の世界など様々。焦らず、少しずつでも続けていけば、1年後には差が付いています。



担当者より

始めるきっかけは様々。例えば、高校では学んでいないが学んでみたい科目がある。国語という教科ではなく日本語の美しい表現を学んでみたい。就活前に基本的な内容をおさらいしたい…。単位のためではない、自分のための学びがあります。

教育支援課 横田 卓さん

英語だけでなく、他の外国語も含めて  
苦手の克服やさらに向上を目指す人は



### “L-Navi”

多言語の学習支援室

場所▶ 湘南校舎1号館1階B翼Global AGORA内  
(授業期間・定期試験期間の月曜～金曜 12:00～18:00)

L-Navi(言語・学習相談室)では、英語だけでなく、他の外国語の学習や留学生の支援まで幅広いニーズに応えます。国際教育センターの教員や学生サポーターが、授業に限らず、資格試験や留学など、語学に関わるあらゆる質問や相談に応じます。ライブラリーやカフェもありますので、気軽に立ち寄ってください。



担当者より

多言語・多文化のための自由な学習・交流スペースとしてGlobal AGORA内にL-Navi(言語・学習相談室)があります。教員や学生による語学学習グループの活動や様々なイベントの企画など、言語や文化との出会いの機会を提供していきます。

国際教育センター英語教育部門教授 長沼 君主先生

東海大学では、学生のみなさん一人ひとりの学習をさまざまな形で支援しています。e-ラーニングのできる「TICU」をはじめ、外国語と理工系科目に特化した「L-Navi」「S-Navi」では、担当の先生や先輩が個別に指導してくれます。苦手分野の克服や、好きな分野の追求など、利用方法はさまざまです。まずはお気軽に学習支援室を訪ねてみてください。

理科や数学が苦手でも  
個別に対策を立てたい人は



### “S-Navi”

数学・理科の学習支援室

場所▶ 湘南校舎18号館1F  
(授業期間・定期試験期間の月曜～金曜 12:35～18:00)

「S-Navi」は、理工系基礎教育科目(数学、物理、化学)の学習支援を行っています。先生や先輩が、授業でわからなかったこと、レポートの書き方、勉強の方法などを親切、丁寧にアドバイスしてくれます。勉強に困った時は気軽に「S-Navi」に相談に来てください。



担当者より

数学や理科の講義でわからないとことがあったら、Sナビで先輩やSナビの先生に気軽に質問してください。わからないことがあるのに解決しておかないと、後でとても苦労します。テスト前だけでなく、わからなかったら早めに相談しましょう。

理学部教授 山本 義郎先生

## 教育支援センターから



教育支援センター所長  
利根川 昭 (理学部物理学科)

教育支援センターでは、学習状況や教育環境の改善のため、さまざまなアンケートを行っています。

①学期毎に全科目対象に、学生の選んだ「いい授業」にも活用されている「授業についてのアンケート」、②毎年、キャンパスライフ改善に役立っている「キャンパスライフアンケート」、③卒業時に実施する大学全般に関する「卒業にあたってのアンケート」、更に、④大学が掲げている「自ら考える力、集い力、挑み力、成し遂げ力」を把握する「4つの力」のアセスメント等、入学から卒業まで、学生一人一人の声を拾い上げ、みんなで創る理想の学びを目指しています。

ホームページには  
「いい授業」に関する情報が満載!

- 講演会・研修会開催情報
- FD研究会開催情報
- 東海大学Teaching Award  
バックナンバー

最新情報は、ホームページで確認できます。

東海大学教育支援センター

<http://www.esc.u-tokai.ac.jp/>